

経営比較分析表（令和6年度決算）

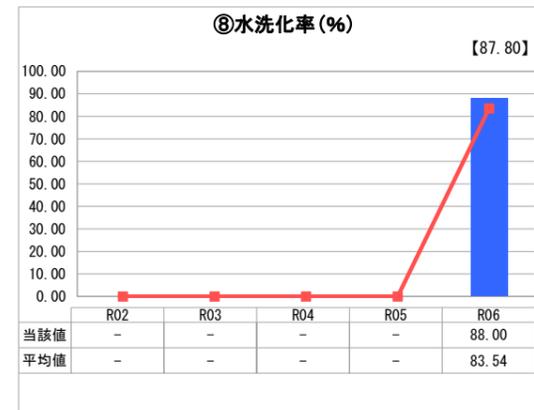
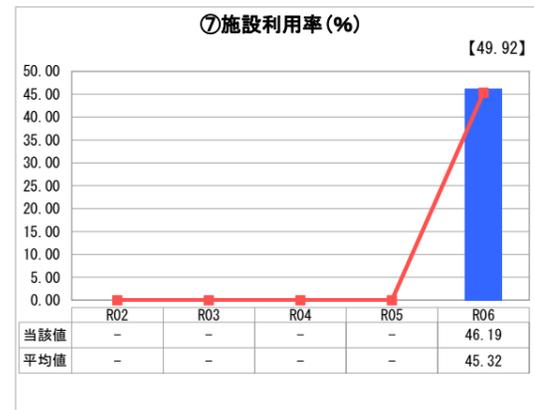
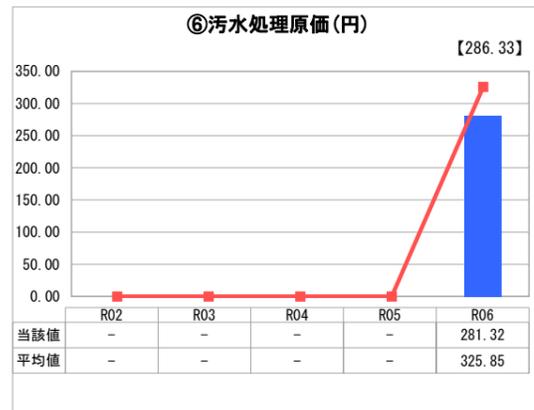
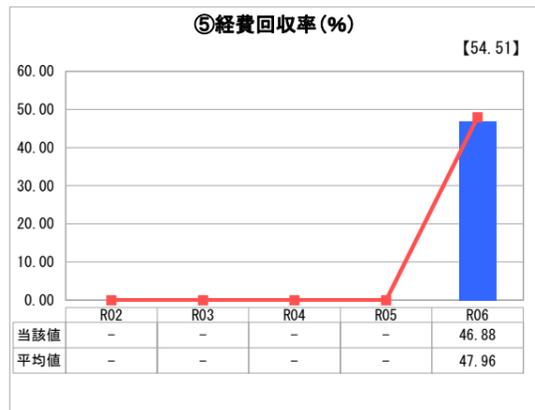
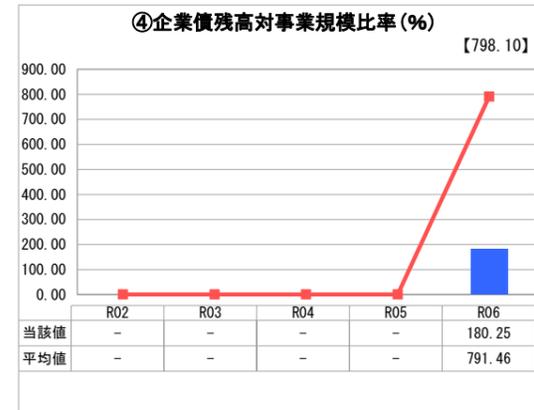
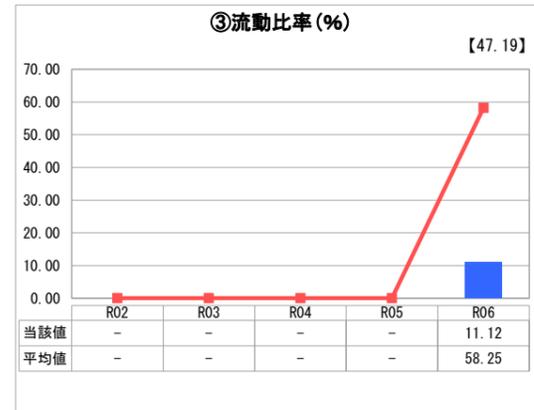
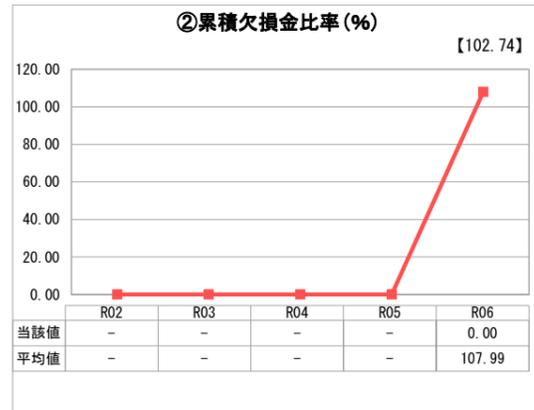
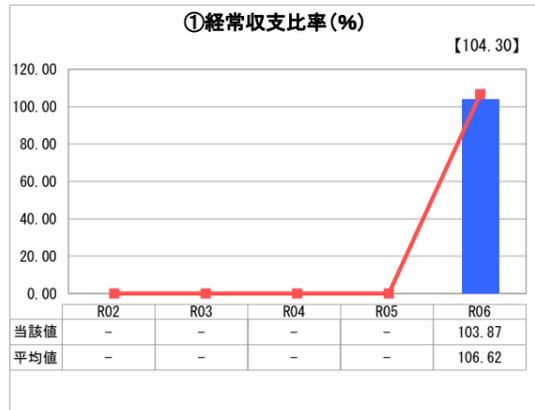
佐賀県 みやき町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.51	3.76	100.00	3,850

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,773	51.92	496.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
967	0.50	1,934.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支率について
令和6年度は類似団体平均値とほぼ同程度の数値となっている。営業収益で営業費用をまかないきれず、営業外収益で補っている状況となっている。今後は企業会計決算をもとに営業収益の増加に向けて様々な対策を講じる必要がある。

② 流動比率について
令和6年度は類似団体平均値と比べて大幅に下回っている。企業債の償還財源として一般会計からの繰入金に頼っている状況である。

③ 企業債残高対事業規模比率について
令和6年度は類似団体平均値と比べて大幅に下回っている。これは、農集排水事業が必要最小限の更新のみを行っているため、企業債残高が少額となっているためである。

④ 経費回収率について
令和6年度は類似団体平均値とほぼ同程度の数値となっている。今後は、必要な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要となる。

⑤ 汚水処理原価について
令和6年度は類似団体平均値と比べて下回っているが、全国平均とはほぼ同程度の数値となっている。

⑥ 施設利用率について
令和6年度は類似団体平均値とほぼ同程度の数値となっている。今後は横ばいもしくは緩やかな下降線で推移する見込である。

⑦ 水洗化率について
令和6年度は類似団体平均値とほぼ同程度の数値となっている。今後は処理区域内の人口の減により、増加傾向となる見込である。

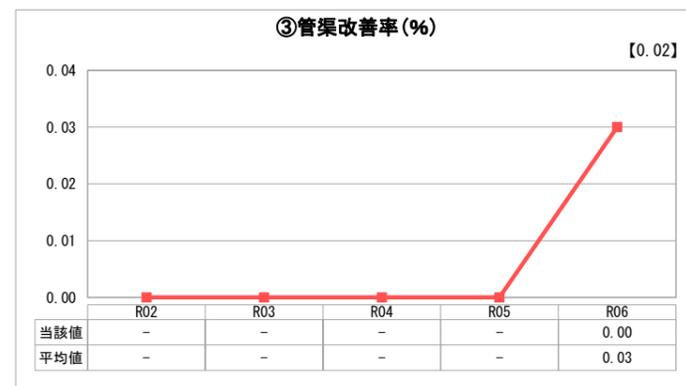
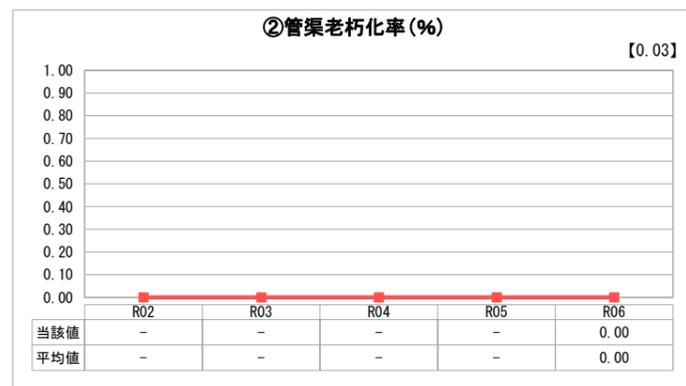
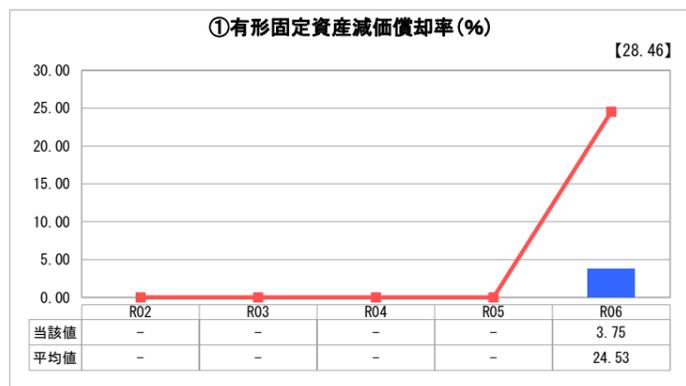
2. 老朽化の状況について

本町の農業集落排水施設は、上地・高柳地区と箕原地区の2箇所である。

上地・高柳地区は平成10年に供用を開始し27年目を迎える。ポンプ類や施設の老朽化に伴い、平成26年度より補助事業である『機能強化事業』の採択を受け、機能診断をおこない、平成28年度より施設の更新を計画的に実施し、長寿命化を図った。

また、箕原地区は平成14年に供用を開始し23年目を迎える。令和2年度に採択を受け、令和2年度から令和6年度の5カ年で事業を実施した。令和6年度は、機能強化事業により中継ポンプ施設及び汚水処理施設の更新を行い、長寿命化を図った。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業の経営は安定しておらず厳しい状況である。使用料収入は横ばい状態が続く事が想定される中で、近年の人件費の増や物価高騰に伴う営業費用の増の影響で一般会計からの繰入金に頼らざるを得ないのが現状である。

しかし、公共下水道や市町型浄化槽が整備完了していない中で、本事業のみの値上げは困難が見込まれる。

今後、公共下水道や市町型浄化槽の整備をさらに加速させていくこと、整備がある程度目途がたった段階で速やかに適切な使用料が提示できるように準備を行う必要がある。

また、維持管理費の削減による経営安定化を図るために、集落排水事業を公共下水道へ編入を検討する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。